

「F35A戦闘機」 小松基地配備？！

近畿中部防衛局は、2025年をめどに小松基地にF35A戦闘機を4機配備し将来的に約20機体制にすると、小松市、加賀市、能美市、川北町などに伝えました。

F35戦闘機は欠陥機？ 800を超える欠陥 パイロットや住民の安全は？

米国防総省運用試験評価局の2020年度の年次報告書によると、F35戦闘機について、10月2日現在で871件の欠陥が残されており、うち10件は作戦の有効性や安全性に影響を与える「カテゴリー1」に分類されるとしています。重大事故などの危険に晒されるのは、パイロットや住民です。

2019年4月に青森県沖で墜落事故 原因はパイロットの平衡感覚喪失？

2019年4月9日、航空自衛隊のF35A戦闘機が青森県沖の太平洋に墜落しました。航空自衛隊は「パイロットが平衡感覚を失い、機体の上下の姿勢や方向などを錯覚する『空間識失調』の可能性が高い」としていますが、その一方で、エンジン制御、操縦、電気系統等の不具合について「完全には否定できない」とも述べています。

エンジンは戦闘機用としては最大級 騒音被害も心配

小型で単発機のF35戦闘機ですが、様々な機能を装備することで非常に重い機体となっています。エンジンも戦闘機用としては最大級。その推力は、双発機のF/A18スーパーホーネットに匹敵。騒音が心配です。



F35A 戦闘機（航空自衛隊ホームページより）

小松基地が「攻撃機の出撃基地」に

F15戦闘機とちがいで、F35戦闘機は、精密誘導爆弾や射程距離が500kmもあるスタンドオフミサイルで地上の目標や艦船を攻撃する能力を持つ多用途戦闘機（攻撃機）です。

「敵基地攻撃能力」を持つF35A戦闘機配備によって、小松基地は、「対領空侵犯措置任務の基地」から、安保法制に基づき米軍と一体となり先制攻撃をおこなう「攻撃機の出撃基地」に変質することになります。周辺諸国との間で緊張拡大をうむことになりかねません。

危険なF35A戦闘機の小松基地への配備をやめさせましょう！

石川県平和委員会 石川県金沢市上荒屋1-312石川学習会館内 電話 076-240-7192 fax 076-249-1409 <http://ishikawa-peace.com/>